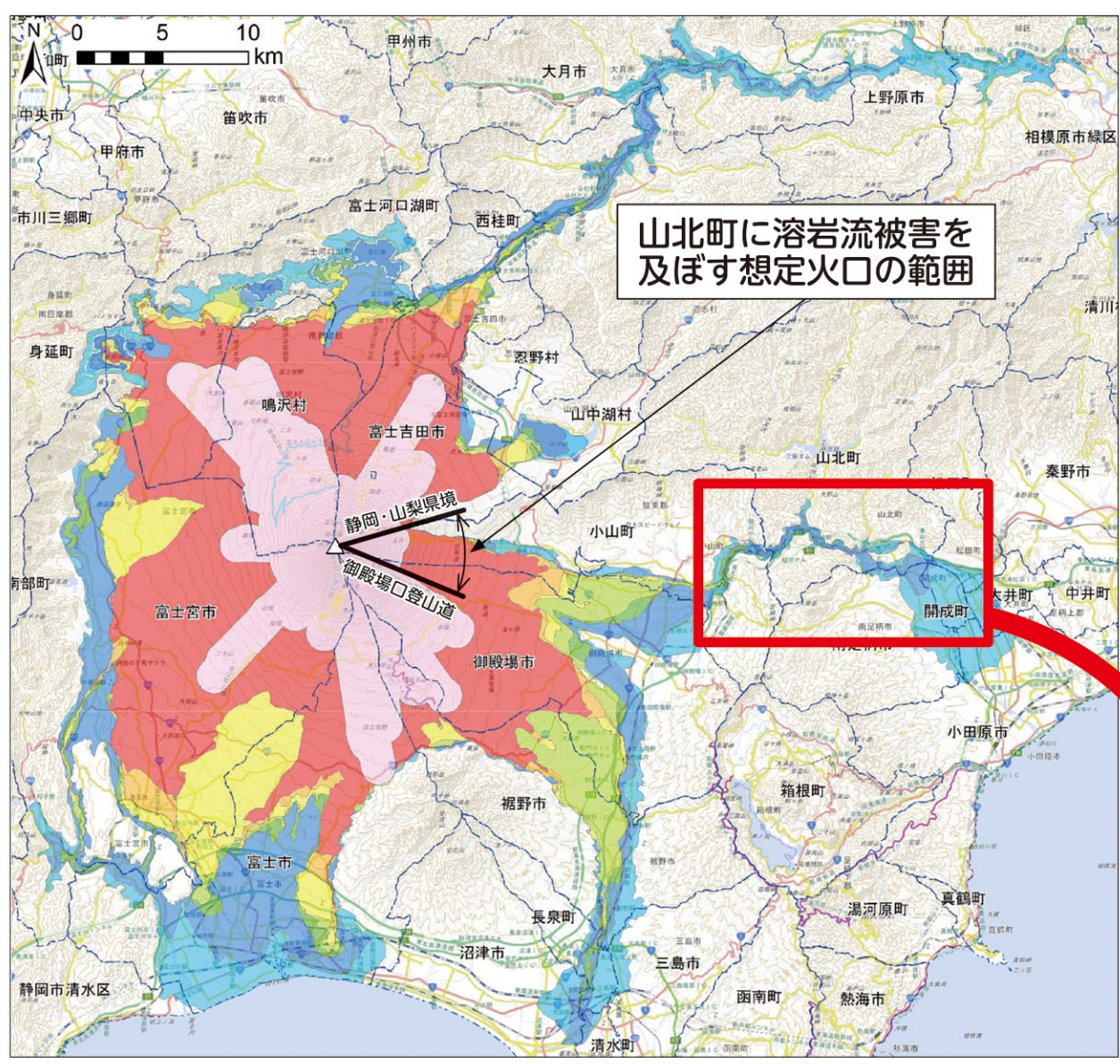




富士山ハザードマップ

詳しくはこちら

火山ハザードマップは、火山災害のおそれのある範囲を想定し、地図上に視覚的に分かりやすく描画したものです。改定された富士山ハザードマップでは、溶岩流や火砕流のシミュレーション結果を示した「ドリルマップ」が大・中・小規模の噴火に合わせて252パターン作成されました。これらを重ね合わせた「可能性マップ」は、溶岩が流れた場合に到達する可能性のある範囲や最小到達時間を網羅的に示しています。



神奈川県版「富士山火山防災マップ」令和5年1月から抜粋

- 凡例
- 山頂
 - 行政界
 - 噴火する可能性のある範囲
 - 溶岩流が2時間で到達する可能性のある範囲
 - 溶岩流が3時間で到達する可能性のある範囲
 - 溶岩流が6時間で到達する可能性のある範囲
 - 溶岩流が12時間で到達する可能性のある範囲
 - 溶岩流が24時間で到達する可能性のある範囲
 - 溶岩流が7日間で到達する可能性のある範囲
 - 溶岩流が最終的に到達する可能性のある範囲(最大で57日)

